

製品の特長

この時計は、EL (=エレクトロルミネッセンス)を用いた発光方式により暗闇の中でも表示全体を均一に光らせることで、表示内容を確認することができます。(パナライト機能)

アラーム音とパナライトの点滅でセットした時刻を知らせるデイリーアラーム機能を搭載し、ストップウォッチは8ラップまでメモリ(ラップ)ができ、2種類(プリセット/フリー)のタイマーを持ち、2つの機能は「確認音」と「オートパナライト」がセットされていると「音とパナライト」で知らせるストップウォッチデジタルウォッチです。

また、エアプロテクションの装着により腕にフィットします。

- 時刻・カレンダー機能**
 - (年) (月) (日) (曜) 時、分を表示します。(年は時刻合わせの時のみ表示します。)
 - 1995年1月1日から2044年12月31日までの50年間、うるう年などの月末修正がない「フルオートカレンダー」です。
- ストップウォッチ機能**
 - 1/100秒単位で計測できる10時間計です。
 - 最初の8区間のラップについて記憶することができ、報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
- リコール機能**
 - ストップウォッチ機能で記憶した8ラップについてラップ回数、ラップタイムを表示することができます。
- タイマー機能**
 - 3分、5分、10分、15分の4chの初期値がセットされたプリセットタイマーと、1分から9時間59分まで1分単位で設定可能なフリータイマーがあります。
 - 報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
- アラーム機能**
 - 設定した時刻(時、分)に毎日アラーム音とパナライトの点滅で知らせるデイリーアラームです。
 - アラームのセット/解除(on/-)を切り替えることができます。
- オートパナライト機能**
 - オートパナライトが設定されているときは、各モードで機能するボタンの操作(例:時刻・カレンダーのモードのときは、報時音・操作確認音のセットと解除するボタンC)後に、約2秒間パナライトが点灯します。(時刻修正・時間セットのときは除く。)
- オートシグナル機能**
 - オートパナライトをONすることによりストップウォッチでは、スタートから19分まで1分ごとにパナライトが点灯します。タイマーでは、リピート回数10回以下のタイムアップ前19分間のみ1分ごとにパナライトが点灯します。
- 内部照明(全面パナライト)機能**
 - 専用ボタン操作により、どのモードでも1回押して約3秒間点灯します。
 - 物質に電圧をかけると光を放す現象(エレクトロルミネッセンス=EL)を利用した発光方式を採用しています。
 - エレクトロルミネッセンスの発光は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。[詳しくは、「エレクトロルミネッセンスパナライト(内部照明)」について]の項をご参照ください。]
 - パナライト機能を長時間で高輝度で光らせると、音がしますが、これは液晶部が発光させる部品が出す音であり、不良品ではございません。

ボタンの名称と表示の切り替え

例:時刻・カレンダー表示

ボタンA: モード切り替え
ボタンB: 時刻・カレンダーモードへの切り替え
ボタンC: スタート/ストップ
ボタンD: タイマーモードへの切り替え
ボタンE: 内部照明の点灯
ボタンF: モード切り替え

ボタンAを押すごとに、つぎの順序で切り替わります。

```

時刻・カレンダーモード (-TIME-) → ストップウォッチモード (-CHRONO-) → タイマーモード (-TIMER-) → アラームモード (-ALARM-)
  
```

操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるときに「ビップ」となります。
「アラームモード」は「時刻・カレンダーモード」は切り替わるのみの音が違います。
(操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。)

時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンの名称とはたらき

ボタンA: 時刻・カレンダーモードへの切り替え
ボタンB: 時刻・カレンダー合わせ呼び出し/解除
ボタンC: 修正箇所を選択
ボタンD: 時刻・カレンダーモードへの切り替え
ボタンE: 内部照明の点灯

例: AM10時08分59秒

ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。

ボタンBを2~3秒間押し続けるとオートパナライト表示が点滅し「オートパナライト」状態になります。ボタンDを押すとON(セット)とOFF(解除)が繰り返し表示し選択できます。

ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部)を選ぶことができます。
年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

ボタンCを押すたびに修正箇所が替わります。

```

オートパナライト ON/OFF → 秒 → 分 → 時 → 日 → 月 → 年 → 12H/24H
  
```

ボタンCを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」に合います。
秒表示が00・59秒のとき、ボタンDを押すと1分が上って「00」に合います。
時刻合わせは電話の時報サービス(TEL117)が便利です。

合わせたいところを点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。(「オートパナライトON/OFF」秒)12H/24H、除く。)

ボタンDを押し続けると、早送りできます。

「時刻・カレンダー合わせ」が終了したら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2~3分後は「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。

カレンダーは1995年から2044年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この期間の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。
報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。

時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A B C D Eいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。

製品仕様

- 水晶振動数 : 32,768Hz (Hz = 1秒間の振動数)
- 精度 : 平均月差±20秒(気温5~35において腕につけた場合)
- 作動温度範囲 : -10 ~ +50
- 使用温度範囲 : -10 ~ +50
- 表示内容
 - 時刻・カレンダーモード
タイムモードマーク
月、日、曜日、A/P(12時間制のとき表示)
時、分、秒
(アラーム・報時・オートパナライトマーク)
 - ストップウォッチモード
ストップウォッチモードマーク
時刻(時・分・秒) A/P(12時間制のとき表示)
10時間計(時、分、秒) 1/100秒
ラップ回数、LAP表示、RECALL(リコール)のとき表示
(アラーム・報時・オートパナライトマーク)
 - タイマーモード
タイマーモードマーク
時刻(時・分・秒) A/P(12時間制のとき表示)
アラームセット時刻(時、分) A/P(12時間制のとき表示)
on/- (セット/解除)
(アラーム・報時・オートパナライトマーク)
 - アラームモード
アラームモードマーク
時刻(時・分・秒) A/P(12時間制のとき表示)
アラームセット時刻(時、分) A/P(12時間制のとき表示)
on/- (セット/解除)
(アラーム・報時・オートパナライトマーク)
 - 表示体 : FE型水タック液晶
 - 使用電池 : 小型リチウム電池 SB-T14 1個(CR-2025)
 - 電池寿命 : 約2年
 - 電池寿命切れ予告機能付 : MOS-LSI 1個
 - 電子回路 : バイポーラIC 1個

上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

ストップウォッチの使いかた

・1/100秒単位、10時間計です。
・最大計測時間は、9時間59分59秒です。
・ラップ回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)、101(表示:01)と表示します。
・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
・報時音とオートパナライトがセットされているとスタートから19分まで1分ごとにブザー音とパナライトが点灯しお知らせします。(オートパナライトのセットについては「時刻・カレンダーの合わせかた」を参照してください。)

ボタンの名称とはたらき

ボタンA: ストップウォッチモードへの切り替え
ボタンB: リコール表示への切り替え
ボタンC: スタート/ストップ
ボタンD: ラップ/リセット
ボタンE: 内部照明の点灯

ボタンAを押して「ストップウォッチモード」にしてください。

普通の使いかた
例: 100メートル競走 (ボタンを押す順序: C → C → D) → リセット

時間計測を積算でおこなう場合
例: バスケットボール (ボタンを押す順序: C → C → D → D) → リセット

途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。

ラップ計測をおこなう場合
計測中ラップ回数は、「99」まで表示し「1」~「8」区間のラップタイムを自動的にメモリー(記憶)しています。
例: 10,000メートル競走 (ボタンを押す順序: C → D → D → D → D → D → D → D) → リセット

ラップ計測後、約10秒間放置しますと自動的にストップウォッチ計測表示にもどります。途中のラップは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)、101(表示:01)と順次表示します。ラップを1回以上おこなったの「ストップ」は「ラップ」として扱えます。

計測中に他の表示(モード)に切り替えても正常に作動していますが、計測していない場合は電池寿命が短くなりますので作動を停止させてください。

リコール(呼び出し)の使いかた
計測途中・リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しはできます。
計測終了後にも「計測しない限り、メモリーは削除されません。」
このストップウォッチは、最初の「1」~「8」区間までのラップタイムを自動的にメモリー(記憶)しています。メモリーしているラップタイムのリコール(呼び出し)は、次の順序でおこないます。
(計測を終了してからリコール表示の場合)
・ボタンBを押してリコール表示にします。
最初の「1」区間のラップタイムを表示します。
例: 8区間以上の計測をしている場合はボタンDを押すごとに、次の区間を順に表示します。
[1] [2] [3] ... [6] [7] [8]

(計測中にリコールする場合)
・ボタンBを押してリコール表示にします。
最新区間のラップタイムを表示します。
8区間以上を計測している場合は、「8」区間を表示します。
例: 最新区間が「8」の場合はボタンDを押すごとに、次の区間を順に表示します。
[8] [1] [2] ... [5] [6] [7]

計測した区間が8未満の場合は、その最大の区間まで表示します。
例: リコール(呼び出し)状態(計測終了後)

ボタンBを押して「リコール表示の切り替え」

計測中は点滅
ボタンD: リコール区間の選択

時計のボタン配置図

ボタンA: モード切り替え
ボタンB: 時刻・カレンダーモードへの切り替え
ボタンC: スタート/ストップ
ボタンD: タイマーモードへの切り替え
ボタンE: 内部照明の点灯

ボタンAを押すごとに、つぎの順序で切り替わります。

```

時刻・カレンダーモード (-TIME-) → ストップウォッチモード (-CHRONO-) → タイマーモード (-TIMER-) → アラームモード (-ALARM-)
  
```

操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるときに「ビップ」となります。
「アラームモード」は「時刻・カレンダーモード」は切り替わるのみの音が違います。
(操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。)

エアチャンバーユニットの使いかた

各部の名称とはたらき

飾りリングB(空気排出ボタン)
飾りリングA
空気注入ポンプ
エアチャンパー

装着のしかた
・手首に時計を装着したら、6時間の空気注入ポンプを押してお好みに応じて、エアチャンパーに空気を入れてください。
エアチャンパーは空気注入ポンプを約10回押ししますといっしょになります。
5回から10回空気注入ポンプを押したときにお好みのしまり具合になるように、バンドの長さを調整してください。
空気を入れるときや空気が減ったときは、空気排出ボタンを押してください。

エアチャンパーの取り外し・取り付けかたについて
エアチャンパーのお手入れ、及び交換の際の取り外し・取り付けのときは、必ずエアを抜いてからおこなってください。
飾りリングの突起部をLOCK位置(凸)に合わせたいと取替える危険があります。

- 12時側の飾りリングの取り外し・取り付けかた
 - 取り外しかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の方向に押しOPENの位置(凹)に合わせて取り外してください。
 - 取り付けかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の反対方向に押しLOCKの位置(凸)に合わせて固定してください。
- 6時側の飾りリングの取り外し・取り付けかた
 - 取り外しかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の方向に押しOPENの位置(凹)に合わせて取り外してください。
 - 取り付けかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の反対方向に押しLOCKの位置(凸)に合わせて固定してください。

エアチャンパーの取り外し・取り付けかた
・取り外しかた
6時側のポンプを指す方向にケース(斜線部分)の12時側の空気排出部を反時計方向に90度回転させケースを通して抜いてください。
・取り付けかた
6時側のポンプを指す方向にケースのカフ穴部に空気排出部を合わせてください。

取り外しかた
12時側の空気排出部をケースのカフ穴部に合わせ時計方向に90度回転させてください。
6時間エアチャンパーの先端部がケースの穴にきちんとしてセットされていないと、装着中に飾りリングが脱落する危険があります。

取扱い注意事項
・水中でポンプの操作をするとき空気注入ポンプから水が入るため、水中でのポンプ操作はしないでください。もしも水が入ってしまったらポンプ部の手を洗ってください。一度空気を入れ、注入ポンプと空気排出ボタンを下に向けながら、空気排出ボタンを押してエアを出すとき少しづつ出たままの状態で数回繰り返してください。
・使用しないときは、空気抜いてください。空気が入ったままにしておくと腐りやすくなり形状が変化します。
・飾りリングのプラスチック部(空気排出ボタン)と空気注入ポンプは、商品の特性上汚れが付きやすい特性をもっていますので、ご注意ください。
・汚れが付いた状態でも長時間放置しておきますと、材質の特性上、汚れが染み込み、落ちにくくなります。水性の汚れには、プラスチック消しゴムや石けん水での拭き取りをおすすめします。油性の汚れなど、原因によっては汚れが残らないものがあります。また、煙草の煙で黄ばみが生ずる場合がありますので、ご注意ください。

タイマーの使いかた

・タイマーは3分、5分、10分、15分の4つのプリセットタイマーと1分から9時間59分までの1分単位でセット可能なフリータイマーがあります。
タイマーは、「リピート(繰り返し)」機能付のためストップさせないと繰り返し作動しますので使い終わったら必ず止めてください。
・報時音がセットされていると1分ごとにブザー音でお知らせします。
・報時音とオートパナライトがセットされていると、リピート回数10回以下のタイムアップ前19分間のみ1分ごとにブザー音とパナライトが点灯し、お知らせします。
ボタンの名称とはたらき

ボタンA: タイマーモードへの切り替え
ボタンB: スタート/ストップ
ボタンC: タイマーモードへの切り替え
ボタンD: タイマーモードへの切り替え
ボタンE: 内部照明の点灯

ボタンAを押して「タイマーモード」にしてください。

プリセットタイマーの使いかた
ボタンDを押すごとに次のようにタイマー時間が換わります。
例: タイマー時間 10分 (ボタンを押す順序: C → C → C → D) → リセット

途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
タイムアップすると9秒間タイムアップ音が鳴ります。
鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、A、B、C、D、E、いずれか1つのボタンを押してください。
タイマーのリピート回数は、99回まで表示します。以降は100(表示:00)、101(表示:01)と順次表示します。

フリータイマーの合わせかた
フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。
例: 1時間25分にセットする場合
ボタンDを押して、ボタンBを2~3秒間押し続けると「合わせ状態」になります。
ボタンCを押すと「時」が点滅表示し「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
合わせたいところを点滅させたらボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。
セットが終了したらボタンBを押して「タイマーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2~3分後は「タイマーモード」へ自動的にもどります。

ボタンDを押し続けると、早送りできます。

アラームの使いかた

・アラーム音とパナライトの点滅で知らせるデイリーアラーム付きです。
・アラームのセット(on)/解除(-)切り替えができます。

ボタンの名称とはたらき

ボタンA: アラームモードへの切り替え
ボタンB: アラーム時刻修正状態の呼び出し/解除
ボタンC: アラーム時刻の修正箇所を選択
ボタンD: アラーム時刻の修正箇所を合わせ
ボタンE: 内部照明の点灯

ボタンAを押して「アラームモード」にしてください。

ボタンBを2~3秒押し続けるとonまたは「表示」が「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。
ボタンCを押すと、合わせたいところを点滅させたら、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。
セットが終了したらボタンBを押して「アラームモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2~3分後は「アラームモード」へ自動的にもどります。

ボタンDを押し続けると、早送りできます。

12時間制の場合は、A/P(午前/午後)に注意して合せてください。
アラーム表示の12H/24Hは、「時刻・カレンダーモード」の12H/24Hに連動しています。

アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合
「アラームモード」でボタンCを押すごとに、セット(on)と解除(-)ができます。

鳴っているアラームを止めるには、アラームはセットした時刻になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時は、ボタンCを押し続ければいいです。

アラームマーク点灯(凹)
アラームセットマーク点灯

エアチャンパーユニットの使いかた

各部の名称とはたらき

飾りリングB(空気排出ボタン)
飾りリングA
空気注入ポンプ
エアチャンパー

装着のしかた
・手首に時計を装着したら、6時間の空気注入ポンプを押してお好みに応じて、エアチャンパーに空気を入れてください。
エアチャンパーは空気注入ポンプを約10回押ししますといっしょになります。
5回から10回空気注入ポンプを押したときにお好みのしまり具合になるように、バンドの長さを調整してください。
空気を入れるときや空気が減ったときは、空気排出ボタンを押してください。

エアチャンパーの取り外し・取り付けかたについて
エアチャンパーのお手入れ、及び交換の際の取り外し・取り付けのときは、必ずエアを抜いてからおこなってください。
飾りリングの突起部をLOCK位置(凸)に合わせたいと取替える危険があります。

- 12時側の飾りリングの取り外し・取り付けかた
 - 取り外しかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の方向に押しOPENの位置(凹)に合わせて取り外してください。
 - 取り付けかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の反対方向に押しLOCKの位置(凸)に合わせて固定してください。
- 6時側の飾りリングの取り外し・取り付けかた
 - 取り外しかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の方向に押しOPENの位置(凹)に合わせて取り外してください。
 - 取り付けかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の反対方向に押しLOCKの位置(凸)に合わせて固定してください。

エアチャンパーの取り外し・取り付けかた
・取り外しかた
6時側のポンプを指す方向にケース(斜線部分)の12時側の空気排出部を反時計方向に90度回転させケースを通して抜いてください。
・取り付けかた
6時側のポンプを指す方向にケースのカフ穴部に空気排出部を合わせてください。

取り外しかた
12時側の空気排出部をケースのカフ穴部に合わせ時計方向に90度回転させてください。
6時間エアチャンパーの先端部がケースの穴にきちんとしてセットされていないと、装着中に飾りリングが脱落する危険があります。

取扱い注意事項
・水中でポンプの操作をするとき空気注入ポンプから水が入るため、水中でのポンプ操作はしないでください。もしも水が入ってしまったらポンプ部の手を洗ってください。一度空気を入れ、注入ポンプと空気排出ボタンを下に向けながら、空気排出ボタンを押してエアを出すとき少しづつ出たままの状態で数回繰り返してください。
・使用しないときは、空気抜いてください。空気が入ったままにしておくと腐りやすくなり形状が変化します。
・飾りリングのプラスチック部(空気排出ボタン)と空気注入ポンプは、商品の特性上汚れが付きやすい特性をもっていますので、ご注意ください。
・汚れが付いた状態でも長時間放置しておきますと、材質の特性上、汚れが染み込み、落ちにくくなります。水性の汚れには、プラスチック消しゴムや石けん水での拭き取りをおすすめします。油性の汚れなど、原因によっては汚れが残らないものがあります。また、煙草の煙で黄ばみが生ずる場合がありますので、ご注意ください。

エアチャンパーユニットの使いかた

各部の名称とはたらき

飾りリングB(空気排出ボタン)
飾りリングA
空気注入ポンプ
エアチャンパー

装着のしかた
・手首に時計を装着したら、6時間の空気注入ポンプを押してお好みに応じて、エアチャンパーに空気を入れてください。
エアチャンパーは空気注入ポンプを約10回押ししますといっしょになります。
5回から10回空気注入ポンプを押したときにお好みのしまり具合になるように、バンドの長さを調整してください。
空気を入れるときや空気が減ったときは、空気排出ボタンを押してください。

エアチャンパーの取り外し・取り付けかたについて
エアチャンパーのお手入れ、及び交換の際の取り外し・取り付けのときは、必ずエアを抜いてからおこなってください。
飾りリングの突起部をLOCK位置(凸)に合わせたいと取替える危険があります。

- 12時側の飾りリングの取り外し・取り付けかた
 - 取り外しかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の方向に押しOPENの位置(凹)に合わせて取り外してください。
 - 取り付けかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の反対方向に押しLOCKの位置(凸)に合わせて固定してください。
- 6時側の飾りリングの取り外し・取り付けかた
 - 取り外しかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の方向に押しOPENの位置(凹)に合わせて取り外してください。
 - 取り付けかた
飾りリング突起部をOPENの位置(凹)に合わせて矢印の反対方向に押しLOCKの位置(凸)に合わせて固定してください。

エアチャンパーの取り外し・取り付けかた
・取り外しかた
6時側のポンプを指す方向にケース(斜線部分)の12時側の空気排出部を反時計方向に90度回転させケースを通して抜いてください。
・取り付けかた
6時側のポンプを指す方向にケースのカフ穴部に空気排出部を合わせてください。

取り外しかた
12時側の空気排出部をケースのカフ穴部に合わせ時計方向に90度回転させてください。
6時間エアチャンパーの先端部がケースの穴にきちんとしてセットされていないと、装着中に飾りリングが脱落する危険があります。

取扱い注意事項
・水中でポンプの操作をするとき空気注入ポンプから水が入るため、水中でのポンプ操作はしないでください。もしも水が入ってしまったらポンプ部の手を洗ってください。一度空気を入れ、注入ポンプと空気排出ボタンを下に向けながら、空気排出ボタンを押してエアを出すとき少しづつ出たままの状態で数回繰り返してください。
・使用しないときは、空気抜いてください。空気が入ったままにしておくと腐りやすくなり形状が変化します。
・飾りリングのプラスチック部(空気排出ボタン)と空気注入ポンプは、商品の特性上汚れが付きやすい特性をもっていますので、ご注意ください。
・汚れが付いた状態でも長時間放置しておきますと、材質の特性上、汚れが染み込み、落ちにくくなります。水性の汚れには、プラスチック消しゴムや石けん水での拭き取りをおすすめします。油性の汚れなど、原因によっては汚れが残らないものがあります。また、煙草の煙で黄ばみが生ずる場合がありますので、ご注意ください。